

新年度にあたり、我会の創設時における設立動機をかえりみるに、本会の目的は、高槻市民憲章「わたしたちは、人間性豊かな教養を高め、輝く市民の文化を作ります」に則り、誇りを持ち、品格のある市民風土の構築です。活動としては、(1) 主に高槻名誉市民(5名)の功績の顕彰及び継承、(2) 高槻に縁ある歴史、文化、福祉、芸能、スポーツ等に顕著な活動をしている現代の賢人の発掘などです。この想いを再認識し“誇り”“品格”のもとに、市民としての責任を果たしていくつもりです。(馬淵)



高槻市マスコットキャラクター『はにたん』

■3月22日(火)高碕翁研究人をお迎えし

「高碕達之助翁を振り返り」講演会行う。

この講演は東洋製罐 GHD(株)のご協力により開催されたものです。当日は高碕翁の水産講習所に関してのお話などを東京海洋大学の岩松課長、ダムに沈む「莊川桜」に関しては電源開発(株)の中岡室長にいただきました。

水産講習所の時代のお話は、翁は明治という変革の時代の中で「水産を通して国を興す」高い志を持って入学し、卒業時には成績優等生として表彰されています。また、莊川桜のお話は、ダムのために沈められる村民の気持ちを考え、困難であった樹齢450年の桜の移植に成功したお話で、ビデオも見させていただきました。

詳細は次号に掲載します。



■4月25日(月)飛騨に咲く

「莊川桜」を訪ねます。

莊川桜は、高碕翁が故郷を失う村人を想い、移植に成功した桜です。当日は、最後の莊川村の住人で、莊川桜の伝道者である林子平さんに、高碕翁との感動のあるお話をお聞きすることができます。

高槻の先人である、高碕翁との話は本当に感動します。皆さんも是非ご参加ください。

【スケジュール】

■集合：8:00

高槻市役所前

莊川桜見学

莊川桜記念館

御母衣電力館

林子平氏のお話

■解散：19:00頃 JR高槻駅

■参加費：7,500円

■定員：20名で締切。



■3月30日(水)郊外見学会を行う。

定例勉強会のメンバーで、移植再生に尽力した樹齢400年を越える莊川桜の老木の命の恩人、そして全国的にも桜守として名高い笹部新太郎氏の功績と桜に関わるコレクションを展示中の白鹿記念酒造博物館(西宮市)と酒倉を見学しました。

そして高碕達之助氏が1929年から1964年死去されるまで住居とされた高碕記念館(宝塚市雲雀丘)〈ウィリアム・M・ヴォーリス設計、築93年〉を訪ねました。高碕記念館では現在の所有者である公益財団法人東洋食品研究所によって高碕達之助氏の業績の数々を展示しつつ、往時の氏の生活ぶりを偲ばせていただきました。調度、豪華なお庭に移植された氏の美談中の美談の

莊川桜二世が満開の時を迎え、春風に吹かれ花びらを乱舞させ私達一行を出迎えてくれたのがとても印象的でした。(宮本)



■3月の定例勉強会

3/14:(高碕達之助翁)高槻文化会館
・莊川桜の紙芝居作成実施の勉強会行う。

3/30(高碕達之助翁)見学会
・桜に関する見学会行う。

① 白鹿記念酒造博物館

② 高碕達之助記念館

4月勉強会 4/11、4/25(見学会)

発行:高槻名誉市民を語り継ぐ会

<http://blog.livedoor.jp/>

takatsukimeiyoy5/

<https://www.facebook.com/>

[groups/167866516706202/](https://www.facebook.com/groups/167866516706202/)

【新規会員募集中】

会の活動にご賛同いただける会員を募集しています。
年会費2,000円です。是非ともご登録をお願いします。